

# 書香

1998. 3. 31

No. 31

## 目

## 次

フィレンツェの図書館をめぐる雑感 (教育学部助教授 徳橋 曜) .....	1	<ニュース>	
<諸 報>		ヘルン直筆の原稿「神国日本」複製デジタル化 .....	4
附属図書館長に小谷仲男教授(人文学部)が就任 『富山大学図書館と初代学長鳥山喜一』 .....	2	2階理工系雑誌情報室に電動集密書架を設置 .....	4
ヘルン文庫収蔵「ヘルン関係文献目録」を刊行 .....	3	1998年外国雑誌案内 .....	5
近世文書「川合文書の目録」を刊行 .....	3	附属図書館利用案内 .....	7
		平成10年度附属図書館開館・休館予定表 .....	8

## フィレンツェの図書館をめぐる雑感

教育学部 助教授 徳橋 曜 (とくはし よう)

イタリアの古都フィレンツェには、こことローマの2カ所にしかない国立中央図書館がある。1階の一般閲覧室、検索室等は混雑しているが、2階に上がると別世界。特別閲覧室と手稿古文書閲覧室に入るには、入館証(観光客を閉め出すためか)とは別に許可が必要だからだ。大学教員なら利用目的が明確で身分証明(日本語は駄目)があればOK。特別閲覧室には18世紀の刊行史料から最近の研究書、事典類まで開架式で置かれている。閉架のものも、借り出して自分の名札を差し込んでおけば、机の上に置きっぱなしで2週間は保持できる。入室者が限られるからこんな悠長なことが可能なのだろう。1階の混雑に配慮すれば、この特権的空間の確保を続けるべきではないという議論もあるが、受益者の勝手を言えば、この落ち着いた空間はありがたい。日本では見られない古い刊行史料を気軽に棚から取って何冊も広げていると、「知の宝庫」としての図書館の存在を実感する。

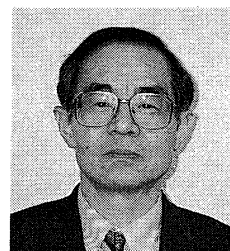
知の宝庫といえば、フィレンツェには有名なラウレンツィアーナ図書館がある。メディチ家とそのサークルの人文主義者達が収集した文献を活用するために、16世紀に造られた。ここで「人文主義と教父達」という展示を見た。人文主義者が買

い込んだり、筆写した初期のキリスト教時代の著作が主体で、豪華な典礼書や聖歌の写本と違い、全般に小型で彩色もない。いかにも実用という趣きだ。面白いのが書き込みで、筆写と一緒に挿入した註釈もあれば、脇に書き込まれたものもある。ランディーノが写したとかピコ・デッラ・ミランダの書き込みとかいう説明を読むと、彼らの勉強ぶりを覗き見した気分だ。こうした書物には確かに、書いた者・読んだ者の手垢というか、生々しい感触がある。中央図書館で史料や研究書を読んでも、14、15世紀の古文書にかじりついていても同様だ。手稿本にはペンの動きさえ感じる、とはロマンティックに過ぎようか。

書物の電子化は著しい。確かに便利だ。検索が容易で場所もとらない。だが中央図書館で書物を手に取ると、利用者の知的活動の蓄積、あの研究者もここでこれを読んだのかな、という連帯感を感じる。著名な研究者夫妻の奥さんの方の著作に、「この解釈は間違い、と亭主が言っている」という書き込みを見つけたこともある。それが、情報だけを与える道具としてのコンピュータと、手垢のついた物体としての本との現実味の違いなのだろう。勿論、訂正であろうと図書館の本への書き込みは厳禁されているのだが……

## ＜附属図書館長に小谷仲男教授（人文学部）が就任＞

平成6年2月20日から平成10年2月19日まで2期4年間の長きにわたり  
附属図書館長を務められた瀧澤 弘教授（教育学部）が任期満了を迎えら  
れ、後任に小谷仲男教授（人文学部）が附属図書館長に就任されました。  
（任期：平成10年2月20日から2年間）



## 『富山大学図書館と初代学長鳥山喜一』

附属図書館長 小谷 仲男

私は昨年10月初旬、念願の渤海王国上京龍泉府址を訪れた。渤海王国（698－926）は中国東北方（旧満洲）にツングース系民族が建国した国家であった。渤海国都城の上京龍泉府址（黒龍江省牡丹江市寧安県）はハルビン市から東へ約450キロ、車で早朝にハルビンを出発し、夕方に到着した。日本の平城京より大きな渤海国の都城址が、ほとんど訪れる人のない静かな環境のなかで保存されていた。渤海国は契丹に滅ぼされるまで、約200年間ここに首都を置き、奈良、平安時代を通じ合計34回の使節を日本へ派遣してきた。日本や新羅が唐一辺倒であったのに対し、渤海国は中国のほか、突厥や日本と多面的外交を展開し、独立を維持しようとした。渤海国使節は日本海が一番広い海域を横断し、能登半島をめざして来航し、また能登半島から帰国した。気位が高く、ミニ中華思想を抱いた日本は、渤海国の巧みな外交術にしばしば翻弄された。

渤海国は上京府のほか、国内に四つの都城（四京）を置いた。この渤海四京の跡を求めて精力的に現地調査した日本人学者がいた。もと京城帝国大学教授で、昭和24年7月に富山大学の初代学長として就任した鳥山喜一（1887－1959）である。あだ名は「渤海王」、中国では鳥山（ニャオシャ

ン）先生として知られる。交通不便、治安の悪さの中、命がけの学問であった。しかし研究半ばで日本の敗戦にあい、身ひとつで引き揚げ、研究資料をすべて失った。鳥山の学長任期は昭和28年12月まで、その後東洋大学に勤務したが、引き続き富山大学に講義のために訪れ、昭和33年に胃がん で死去した。鳥山喜一はあの渤海史研究に注いだのと同じ情熱で大学の発展に尽くした。富山大学発足の当時、富山高等学校（人文、理学部の前身）の所蔵する「ヘルン文庫」に対し、松江市から高額購入の申し出があり、大学創設資金難のおりからそれに応じようとする人も多かったが、初代附属図書館長の文理学部教授（日本史）高瀬重男は、鳥山学長とともにそれを断固拒否したと『富山大学十五年史』の中で語る。そのほか鳥山学長が関わって本学図書館に購入された書物には『清朝歴朝実録』1220冊（満洲国国務院、1938年刊）や『雲岡石窟』32冊（京都大学1951－55年刊）がある。後者の著者、水野清一は私の先生であり、昭和8、9年に東亜考古学会が行なった東京城（渤海国上京府址）の発掘調査に鳥山とともに参加している。私はその渤海国古城の中に立ち、感傷と消しがたい歴史の重みを身近に感じて帰国した。

## 小泉八雲関係文献目録（改訂版）を刊行

昭和2年（1927）にヘルン（ライフカディオ・ハーン・小泉八雲）文庫が創設された時から、文庫にはハーンの著書、翻訳書、研究書、雑誌論文、新聞記事の切り抜きなどが収集された。

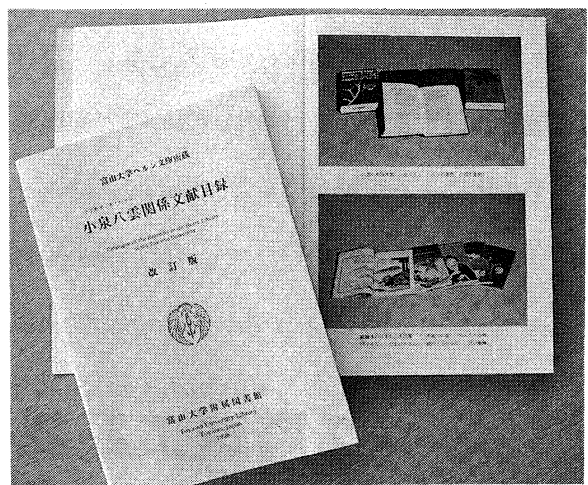
昭和34年（1959）に、当時の平岡伴一館長がこれらの資料を集めて「ヘルン文庫所蔵ヘルン関係文献解説付目録」を編集・刊行された。爾来40年の間に集められた文献数は3倍に達し、研究者からは「改訂版」刊行が強く望まれていた。

平成7年に、目録を改訂すること、それと同時に「文献」を目録データベースに入力すること、また図書館ホームページによりインターネットで公開すること、の三つの計画がたてられた。

平成9年、教育改善推進費を受けて改訂版の刊行が実現したが、その内容は単なる改訂ではなく、次の点でユニークな目録に仕上がっている。①ハーンの著書・全集に内容細目をつけたことにより作品単位で検索できる。②ハーン研究の著書や雑誌論文からも検索できる「書名・文献索引」を新た

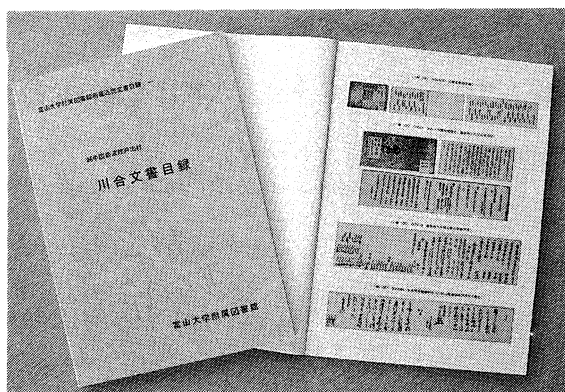
に設けた。③ハーン作品の一覧、ハーン研究者別の文献も検索できるよう「著者・執筆索引」を設けた。④「問題事項索引」を加えた。

平成9年3月、「ヘルン文庫」は増築された新館5階へ移転し、保存、展示、閲覧などの環境が大いに改善されたところである。今後、当文庫がハーン研究の「文献センター」としてますます利用されることが期待される。



## 『近世文書 川合文書の目録』を刊行

富山大学附属図書館には、加賀藩砺波地方を裁許した十村（とむら）（他藩の大庄屋）役に任じ



られた川合家及び菊地家に伝来した近世文書6千数百点が所蔵されている。両文書は、近世初期藩政改革の代表的な施策として理解されている加賀藩の農政改革である改作法に関する文書等貴重な史料が多数含まれている。川合文書は、加賀藩農村の基本的な重要史料であるために、本学の実研究者はもとより、自治体史の編纂に携わる専門家はもちろんのこと、多くの地方史研究者や近世史研究者へ提供してきた。本目録は、平成7年度にデータベース化をほぼ終了した川合文書3千4百点余について編集刊行したものである。編集に当たっ

て、年代順目録（利用目録）と整理番号目録の2部構成とし、それぞれ、文書の存在形態に応じて、一紙（状）、冊子（帳）、絵図の三つに区分し、利用のうえでの利便性と文書の的確な提供に配慮し

た。川合文書目録データベースはインターネットで検索できますのでこちらの方もご利用下さい。

URL : <http://mirror.toyama-u.ac.jp/Kawai/>

## ニュース

### 『ヘルン直筆の原稿「神国日本」複製デジタル化』

ヘルン文庫に収蔵されているヘルン直筆の原稿「神国日本」が、長年による劣化と酸性紙のためインクの色も褪せ、長期保存が困難となり、後日復刻版を刊行することを目途に、このほど原稿をデジタル化による複製を行った。原稿は、ヘルンが付けたとされる色鉛筆のページ付けや書き込み

があり、校正時に原稿の修正、手入れの痕跡など研究者には興味深いものであり、特別な時以外は公開できなかったが、今回デジタル化したことで、パソコンによる操作からこの原稿をかいま見ることができ、研究者への研究の促進と公開に弾みができた。

### 『2階理工系雑誌情報室に 電動集密書架を設置』

2階理工系雑誌情報室に電動集密書架を設置しました。次は3階の文系雑誌情報室に設置する予定です。

富山大学附属図書館は、増築の建物が平成9年2月に竣工し、この増築を機に、平成8年度末現在約856千冊の全蔵書のうち、部局に分散している資料を可能な範囲で集中化を図ってきましたが、年間約2万冊づつの図書館資料の増加による保存

スペースが必要であることから、スペースの効率を最大限に図ることのできる電動式集密書架を増築建物の2階及び3階に設置し、資料の収蔵能力を高めるとともに、共同利用化を促進することで、利用者へのサービスを拡大するのが目的です。

これにより、今まで閉架書庫に配架されていて、閲覧に当たり手続き等を要した雑誌を自由に直接手にする事が可能となります。

# 1998年外国雑誌案内

## <新規購入雑誌リスト>

Adult Education Quarterly	International Peacekeeping
Adult Learning (AAACE)	Jahrbuch der Österreichischen Byzantinistik
Adults Learning (NIACE)	Journal of Comparative Physiology A
African American Review	Journal of Financial Research
African Arts	Journal of Inequalities and Applications
Byzantine and Modern Greek Studies	Journal of International Consumer Marketing
Byzantinische Forschungen	Journal of Music Therapy
Carnegie Rochester Conference Series on Public Policy	Journal of the Association for Persons with Severe Handicaps
Cattech	Journal of Wildlife Management
CLA Journal	Language
Communication Education	Low Intensity conflict & Law Enforcement
Computing and Visualization in Science	Magazine Litteraire
Conradiana	Mammalian Evolution
Demography	Mathematical Problems in Engineering
Economie Appliquee	Millennium
Education Training in Mental Retardation and Developmental Disabilities	Poetique
European Journal of International Relations	Studies in Second Language Acquisition
Frontiers of Medical and Biological Engineering	The Black Scholar : Journal of Black Studies and Research
Geopolitics and International Boundaries	Topics in Catalysis
Information Litteraire	Экономика России
International Journal of Industrial Organization.	Коммерсант

## <購入中止雑誌リスト>

Accounts of Chemical research  
 Artificial Intelligence  
 Biochemistry  
 British Accounting Review  
 C.A. Selects. Roman Spectroscopy  
 C.P.C.U. Journal  
 Chem. Tech.  
 Chemical Engineering Journal  
 Chronicle of Higher Education  
 Communications in Statistics. Simulation and Computation  
 Communications in Statistics. Stochastic Models  
 Communications in Statistics. Theory and Methods  
 Contemporary Accounting Research  
 Environment and Behavior  
 Environmental Science and Technology  
 European Journal of Work Organizational Psychology  
 Geography  
 Hauswirtschaft und Wissenschaft  
 Human Resource Management Review  
 Independent Agent  
 Industrial & Engineering Chemistry Research  
 International Journal of Computational Fluid Dynamics  
 International Journal of Geographical  
 Information science  
 International Journal of Insect Morphology and Embryology

International Journal of Urban and Regional Research  
 Irish Geography  
 Journal Higher Education  
 Journal of Business Strategy  
 Journal of Catalysis A  
 Journal of Catalysis B  
 Journal of General Management  
 Journal of Interdisciplinary History  
 Journal of Physical Chemistry Part.A  
 Journal of Physical Chemistry Part.B  
 Journal of Rural Studies  
 Journal of Time Series Analysis  
 Langmuir  
 Macromolecules  
 National Underwriter  
 Peptides  
 Philips Journal of Research  
 Planning Perspectives  
 Quarterly Journal of Experimental Psychology Sect.B  
 Reading Research Quarterly  
 Regional Studies  
 Resource  
 Resources Policy  
 Singapore Journal of Tropical Geography  
 Theoretical Chemical Engineering  
 Trends in Ecology and Evolution  
 Правда  
 Реферативный Журнал.20  
 Торговля

# 附属図書館利用案内

附属図書館には、本館と工学専門図書室とがあり、約88万冊の図書資料が収集・整理され、教職員および学生に利用されています。図書館の資料は自由に手にとって見るができます。

## 開館時間・休館日

平日 午前8:30～午後8:30  
(工学専門図書室 午前8:30～午後8:00)  
土・日曜日 午後0:30～午後4:30  
ただし、夏季休業、冬季休業及び春季休業期間中の開館時間は午後5時迄です。

休館日は本紙休館予定表をご覧ください。

## 図書の貸出と返却

図書館の資料は、館内で自由に閲覧することができます。貸出を希望する場合は、図書と学生証を貸出カウンターに提示してください。貸出冊数及び貸出期間は次のとおりです。

学部学生 5冊以内 2週間以内  
大学院学生 10冊以内 1カ月以内  
(ただし、雑誌、参考図書、視聴覚資料は貸出できません。)

なお、貸出手続きを受けないで無断で図書を持ち出そうとするとブザーが鳴りますので注意してください。

貸出を受けた図書は、返却カウンターに返してください。閉館時は玄関左側の返却ポストに入れてください。また、返却期限に遅れると貸出が停止されますのでご注意ください。

## 資料の探し方

図書・雑誌は、OPAC(Online Public Access Catalog)と呼ばれる蔵書検索システムにより、コンピュータ端末からその所在を探すことができます。検索結果が、本館・開架1の表示のある図書は本館の1階に、本館・開架2の表示のある図書は、本館4階から6階に、工学図の表示のある図書は工学専門図書室に配架されています。図書は、日本十進分類法の分類番号順に書架に配置されています。例えば、P.O.ヨハンソン著「現代厚生経済学入門」という図書は、経済学(分類番号331:図書の背に貼られたラベルの一番上の数字)のところに配架されています。図書は書架の上では、書棚の左から右、上の棚から下の棚へと並べられています。

昭和59年度以前に受入れた図書は、本館書庫の

1階と2階及び工学専門図書室に配架されています。検索はカード目録を利用してください。本館書庫へは学生証を提示の上、入庫してください。書庫の利用時間は、平日午前9時から午後5時迄です。

雑誌は研究室に貸出されたものを除き、本館2階の新着雑誌コーナーおよび電動集密書架に配架されています。バックナンバーの一部と他大学や研究機関の紀要・報告書類は本館書庫3階(一部は書庫4階)に配架されています。工学専門図書室には工学専門雑誌が配架されています。配列は誌名のアルファベット順になっています。

## 資料の配置(本館)

- 6階 図書(自然科学 工学 産業 芸術 言語文学)  
マルチメディア研修室 研究個室
- 5階 図書(経済 財政 統計 社会学 教育 民俗 軍事) ヘルン(小泉八雲)文庫 ヘルン閲覧室 研究個室
- 4階 図書(総記 哲学 宗教 歴史 政治 法律)  
大学資料室 研究個室
- 3階 雑誌(整備中) グループ閲覧室
- 2階 雑誌 新着雑誌コーナー グループ閲覧室  
自由閲覧室 ビデオブース 新書・文庫本  
コーナー 近世文書室(川合・菊池文書)
- 1階 参考図書(辞書・事典類) 学生用図書  
メインカウンター レファレンスデスク 地域情報・国際交流コーナー マルチメディアコーナー
- 書庫 概ね昭和59年以前に受入した図書(コンピュータには入力されていません)及び雑誌  
バックナンバー

## 参考調査・文献複写

図書館で探している資料や文献が見つからないときは、参考調査(レファレンス)カウンターにお尋ねください。図書館資料の複写もこちらで受け付けています。また、プリペイドカードで利用できる複写機を設置しています。図書館資料を複写する場合は、著作権法に基づく所定の手続きが必要です。備付けの文献複写申込書に記入の上カウンターに申し込んでください。

本学図書館に所蔵していない資料は、コピーや現物で他大学等から取り寄せることができますのでお気軽にご相談ください。



# 平成10年度 附属図書館開館・休館予定表

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	水	短縮	1	金		1	月		1	水		1	土	短縮	1	火	
2	木	短縮	2	土		2	火		2	木		2	日		2	水	
3	金	短縮	3	日	憲法記念日	3	水		3	金		3	月	短縮	3	木	
4	土		4	月	休日	4	木		4	土		4	火	短縮	4	金	
5	日		5	火	こどもの日	5	金		5	日		5	水	短縮	5	土	
6	月	短縮	6	水		6	土		6	月		6	木	短縮	6	日	
7	火	短縮	7	木		7	日		7	火		7	金	短縮	7	月	
8	水	短縮	8	金		8	月		8	水		8	土		8	火	
9	木	短縮	9	土		9	火		9	木		9	日		9	水	
10	金	短縮	10	日		10	水		10	金		10	月	短縮	10	木	
11	土		11	月		11	木		11	土		11	火	短縮	11	金	
12	日		12	火		12	金		12	日		12	水	短縮	12	土	
13	月		13	水		13	土		13	月		13	木	短縮	13	日	
14	火		14	木		14	日		14	火		14	金	短縮	14	月	
15	水		15	金		15	月		15	水		15	土		15	火	敬老の日
16	木		16	土		16	火		16	木		16	日		16	水	
17	金		17	日		17	水		17	金		17	月	短縮	17	木	
18	土		18	月		18	木		18	土		18	火	短縮	18	金	
19	日		19	火		19	金		19	日		19	水	短縮	19	土	
20	月		20	水		20	土		20	月	海の日	20	木	短縮	20	日	
21	火		21	木		21	日		21	火		21	金	短縮	21	月	
22	水		22	金		22	月		22	水		22	土		22	火	
23	木		23	土		23	火		23	木		23	日		23	水	秋分の日
24	金		24	日		24	水		24	金		24	月	短縮	24	木	
25	土		25	月		25	木		25	土		25	火	短縮	25	金	
26	日		26	火		26	金		26	日		26	水	短縮	26	土	
27	月		27	水	短縮(大学祭)	27	土		27	月	短縮	27	木	短縮	27	日	
28	火		28	木	短縮(大学祭)	28	日		28	火	短縮	28	金	短縮	28	月	
29	水	みどりの日	29	金	休館(大学祭)	29	月		29	水	短縮	29	土		29	火	
30	木		30	土	休館(大学祭)	30	火		30	木	短縮	30	日		30	水	
			31	日	創立記念日				31	金	短縮		短縮				
10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	木		1	日		1	火		1	金	元旦	1	月		1	月	短縮
2	金		2	月		2	水		2	土		2	火		2	火	短縮
3	土		3	火	文化の日	3	木		3	日		3	水		3	水	短縮
4	日		4	水		4	金		4	月		4	木		4	木	短縮
5	月		5	木		5	土		5	火	短縮	5	金		5	金	短縮
6	火		6	金		6	日		6	水	短縮	6	土		6	土	
7	水		7	土		7	月		7	木	短縮	7	日		7	日	
8	木		8	日		8	火		8	金	短縮	8	月		8	月	短縮
9	金		9	月		9	水		9	土		9	火		9	火	短縮
10	土	体育の日	10	火		10	木		10	日		10	水		10	水	短縮
11	日		11	水		11	金		11	月		11	木	建国記念日	11	木	短縮
12	月		12	木		12	土		12	火		12	金		12	金	後期日程試験
13	火		13	金		13	日		13	水		13	土		13	土	
14	水		14	土		14	月		14	木		14	日		14	日	
15	木		15	日		15	火		15	金	成人の日	15	月		15	月	短縮
16	金		16	月		16	水		16	土	センター試験	16	火		16	火	短縮
17	土		17	火		17	木		17	日	センター試験	17	水		17	水	短縮
18	日		18	水		18	金		18	月		18	木		18	木	短縮
19	月		19	木		19	土		19	火		19	金		19	金	短縮
20	火		20	金		20	日		20	水		20	土		20	土	
21	水		21	土		21	月		21	木		21	日		21	日	春分の日
22	木		22	日		22	火		22	金		22	月	短縮	22	月	振替休日
23	金		23	月	勤労感謝の日	23	水	天皇誕生日	23	土		23	火	短縮	23	火	短縮
24	土		24	火		24	木		24	日		24	水	短縮	24	水	短縮
25	日		25	水		25	金	短縮	25	月		25	木	前期日程試験	25	木	短縮
26	月		26	木		26	土		26	火		26	金	短縮	26	金	短縮
27	火		27	金		27	日		27	水		27	土		27	土	
28	水		28	土		28	月		28	木		28	日		28	日	
29	木		29	日		29	火		29	金					29	月	短縮
30	金		30	月		30	水		30	土					30	火	短縮
31	土					31	木		31	日					31	水	短縮

通常開館 8:30-20:30 (工学専門図書館 8:30-20:00)

短縮 短縮開館 8:30-17:00 (工学専門図書館 1/14, 2/24, 3/11は8:30-12:00)

休日開館 12:30-16:30

休館

国民の祝日に関する法律に定める祝日及び休日

本学創立記念日(5月29日に振替え)

年末年始

休業期間中の土・日曜日

大学入試センター試験実施日(1月16・17日)

入学者選抜学力検査前期・後期日程実施日(2月25日・3月12日)

館長が特に必要と認めた日